

Q. オリンピック大会の成功と、付随する経済効果への期待にとどまらず、日本の将来に向けた変化の“**大きなうねり**”とすることが必要

2020オリンピックをどう「**理解**」し、そのためにどう「**動く**」のか？

A. オリンピックの成功は、**日本人・日本社会の転換**の上に成り立つ！ と理解し、行動の評価軸となる明快なコンセプトを定めてその達成に邁進する(動く)！

生み出した価値が国民・世界に認められ、優れた人材や知識がさらに集積する良循環が形成されている社会

高齢化社会として、競争力を落とさない“戦略的な”ゆとりづくり(生涯を通じてチャレンジできる社会など)

革新的な新たな価値が次々と生み出され、国民が成果を実感する社会

ビジョンを共有し、リスクを取って挑戦

対話から生み出される価値=創発を重視する

日本人・日本社会の転換

“**勤勉**”に加え、世界に誇る志と創造力を！
革新的な「**価値創造社会**」を実現する
Value Creation Society

革新的でありながらも伝統を重視する文化を！
文化力を更に強化し、世界へ発信する
Power of Culture

成熟社会国家として世界の**手本**に！
変化に適応する「**動的全体最適**」な仕組みを構築する
Dynamic Total Optimization

日本の伝統と強みを活かす

教育、科学技術、文化、スポーツは日本ブランドたるソフトパワー(魅力、支持、信頼など無形の価値)の源泉

オリンピックに向けた「夢」

省内意見・熟議(約350件)及び、市民とのワークショップ、若手アスリート・アーティスト・研究者、産業界や研究機関などと集中的な意見交換を行い、アイデアを収集！

- ワクワク・カッコいい → 「**感動**」
- 他者とのつながり・多様性 → 「**対話**」
- 快適性・利便性・効率性・安全・安心・ゆとり → 「**成熟**」

3つに**集約**！

上記を踏まえた大会成功へのコンセプト

『オリンピックの感動に触れる。私が変わる。社会が変わる。』

如何に安全・確実な大会運営を実現するか
世界を魅了するダイナミックな祭典を達成
超臨場感での観戦や、ボランティア等様々な大会との関わり

スポーツ、アスリートから感じる、学ぶ
国や世代を超えた「対話」と「共有」
文化を楽しめる力の育成

結果として、日本文化の「成熟」と発信、高齢者の活力活用、地域社会の活力・豊かさの活用、豊かな環境の保全や社会基盤の整備等、我が国の社会的課題解決に直結する

具体案

コンセプト達成の方策案。今後、様々な対話、熟議を通じて議論し、確実に実践にうつす！

- メダル最多獲得(ロンドンから倍増の80！)
- 世界水準のトレーニング施設。オリンピックツーリズム

- どこでもスポーツ環境
- 夢大使による子供たちの夢実現支援

- 全国バリアフリー化
- スポーツボランティア推進、寄付文化

- 日本独特の運動会をエキシビション等で披露
- 日本文化に触れる情報提供システム整備

- 文化鑑賞促進プロジェクト
- ポップカルチャーの拠点形成

- 芸術競技を復活・リニューアル
- 上野・文化回廊を世界規模の都市博物、美術館に

- 五輪憲章の精神を学校教育に活かす(教材の開発等)
- 知のオリンピックも全国開催(語学、科学リベンジ等)

- 外国語コミュニケーションの強化支援
- 世界に通用する職人育成事業

- 留学生交流の日常化(ホームステイ、姉妹校強化)
- 一人一ボランティア推奨

- 社会は変革する夢のある研究開発を促進
快適で安全な交通移動システム、超臨場感観戦技術、義肢・アシスト技術、自然災害の予測・観測技術

- 年齢や障害を問わないユニバーサルデザインのための技術
- 科学館から日本の夢、科学を発信

- 安定でスマートなエネルギー確保とその供給社会
- 若手、外国人、女性研究者が“研究したい国”の実現(Research in Japan)